

急な天候の変化に注意！！

突風・落雷事故防止対策



屋外の活動が多いこの時季。急な天候の変化には十分注意し、素早く適切な対応を

「落雷は防げないが落雷事故は防げる」
過去の判例からも、事故を予見し回避するのは指導者の義務です！

危険性を十分に認識し、適切な対応をとりましょう

- 屋外での活動前には必ず天気予報を確認する。
- テントや用具設備はしっかりと固定する。
- 雷警報器等を学校に常備し活用する。
- 雷雲の発生や空が暗くなる等急に天候が変化した時には活動を中止する。
- 雷光や雷鳴を確認したら遠くであってもすぐに避難を開始する。雷光・雷鳴がなくなっても20～30分は待機し、すぐには活動を再開しない。

**慌てて下校させずに、
状況を見て学校で待機を
させる判断も大切です**

気象庁ホームページ・ナウキャストでは落雷発生の可能性や雷の激しい地域の詳細な情報を提供しています。効果的に活用してください。 <http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>